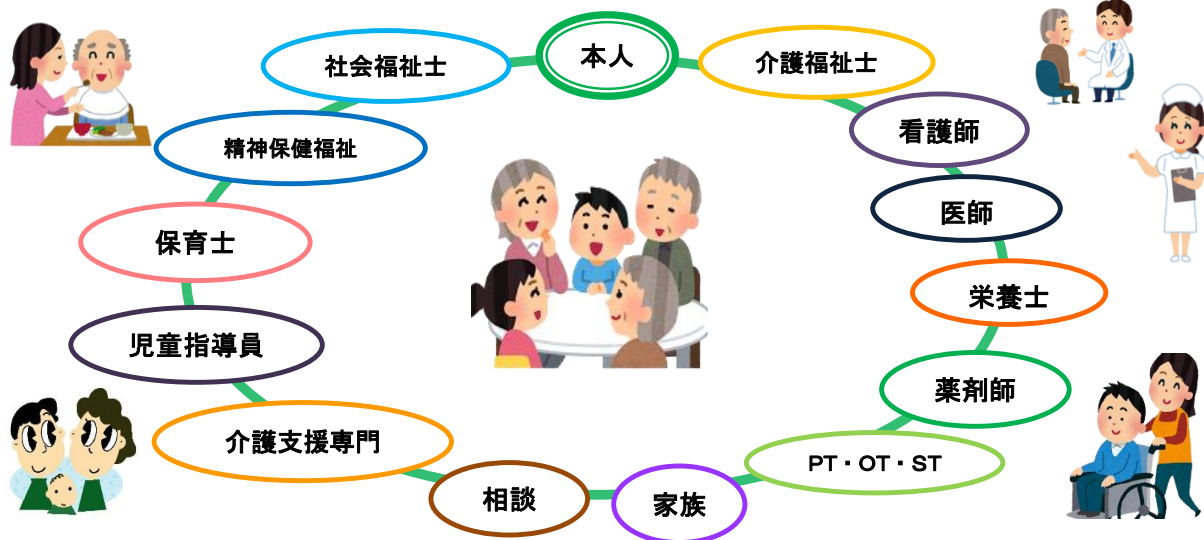




多職種連携推進課程 学生募集

地域で“つながる ♣ つなげる” 力をあなたに !!



専門職連携のスキル

- ❖ コミュニケーションと合意形成
- ❖ 連携と協働のファシリテーションスキル
- ❖ 効果的なカンファレンス

ケアマネジメントと多職種連携

- ❖ ケアマネジメントの基本
- ❖ ケアマネジメントスキル

地域アセスメント・地域づくり

- ❖ 地域ケア会議
- ❖ 地域アセスメント
- ❖ 地域づくりのネットワーク構築とコーディネートスキル

地域包括ケアの実際

- ❖ 様々な分野におけるチームアプローチ
- ❖ 地域資源の活用と創出

安全管理と多職種連携

- ❖ 安全管理の基本的知識
- ❖ 多職種による危険予知
- ❖ 安全管理の法的理解

事例検討

- ❖ 自己検証
- ❖ 課程の学びの総括

- 働きながら学べます。 受講しやすい毎土曜日開講（4月～12月）
- 最短100時間で卒業。 様々な選択科目を設定 *科目試験はありません。
- 仕事にすぐに役立つ知識や技術を、実際に多職種で交流しながら学べます。

多職種連携推進課程 Q&A

Q:どのような職種の人が受講していますか？

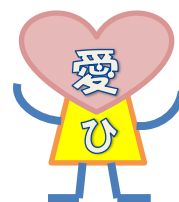
A:看護師、介護支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、作業療法士、相談員、栄養士、行政職など様々です。また資格に関係なく、保健医療福祉の現場で働いている現任の方を対象としています。多様な職種の方々と共に学び、実践力を磨くことができるのもこの課程の魅力です。

Q:学費はどの位かかりますか？

A:入学料は、神奈川県内在住の方は68,800円、県外在住の方は137,600円です。

授業料は、選択する科目・時間数により19,400円(100時間まで)～38,800円

(101～200時間まで)となります。 ※平成30年度の金額(税込)です。



第1回生の作品「ヒューマン君」

どの講義も「目からウロコ」の話題がいっぱいです。

「役割分担」が「役割分断」となっていないか？

この問いかけに、自分がこれまで何を伝え、どう繋がってきたのか、振り返らざるを得ませんでした。クライアントを中心に、合意形成を図る大切さを学びました。

(社会福祉士)

どのような物事も、職種によって見え方が違うことを学びました。

(診療情報管理士)

患者、家族を支えるためにチーム医療を進めること、より機能させていくことの大切さを改めて学びました。

(看護師)

IPW・IPEについて学び、何をすべきなのか自分の立ち位置と役割が理解できました。

多職種による連携こそが、これからの住みやすい地域づくりの基礎であると感じられました。

(就労支援員)

ストレンクスへの気づきで、新たなケアプラン作成の視点に繋がりました。

(介護福祉士)

卒業生からの
メッセージ



「連携」というけれど、どうして「連携」が大切なのか。多職種での連携はどうしたらいいか。そんなモヤモヤと言葉にできない思いを学びながら言語化出来、地域での実践に役立っています。

(ケマネージャー)

「しているつもり」、「出来ているつもり」からの脱却。

(民生委員)

他の職種に対する理解が深まることで、職場での連携や仕事に対するモチベーションも育まれました。多職種が連携し、それぞれの専門性を束ねることで得られる「実践の智」を体感できる課程です。

(介護福祉士)

多職種連携の考えが広がる中で、PTがやるべきこと、他の職種からの見られ方、要望されていることがよく理解できました。

仕事の広がりを感じる事ができます。リハ職の方もぜひ！

(PT)

本当に「相手に寄り添う」ということはどういうことか。様々な職種の方たちと語りながら、自分の専門の強みと限界を学びました。

(看護師)

< 募集の概要 >

◆募集人員 40人

◆出願資格 保健・医療・福祉関連機関・施設等において、多機関・多職種との連携が必要な業務に、1年以上継続して従事している方

◆出願期間 平成30年10月29日(月)～11月12日(月)

◆合格発表 平成30年12月4日(火)

※募集要項は、8月頃当センターホームページに掲載予定です。(http://jissen.kuhs.ac.jp)

◆問い合わせ先

実践教育部 多職種連携推進課程担当 電話 045-366-5871